



コメント：錦海湾の朝

〈赤磐医師会病院基本理念〉

- ❖ 心のかよう、温かみのある医療の提供に努めます。
- ❖ 安全で質の高い医療を提供し、信頼される病院を目指します。
- ❖ かかりつけ医との連携を深め、地域と共にある病院を目指します。



赤磐医師会病院





新年挨拶



謹賀新年

公益社団法人赤磐医師会 会長 滝澤 貴昭



あけましておめでとうございます。赤磐医師会病院は赤磐市・岡山市東部を中心に、東備・美作圏域まで含めた広域な地域医療の要として病院職員・医師会員達が一丸となって住民の皆様へ安心をお届けするべく頑張っている病院です。

岡山県内では唯一、医師会が設立母体の準公的な病院です。1982年に121床で認可され、その後41年経過して、約二倍の規模に成長しました。開設時から「へき地医療拠点病院」に指定され、2004年には「地域医療支援病院」にも指定されたことにより二次救急患者様の受け入れ体制を充実させてまいりました。常勤医は内科・外科・整形外科のみですが、透析センター、内視鏡センターや健診センターも併設されており、また大学病院をはじめとした県内複数の公的病院から専門医が派遣されているため、精神科・小児科・婦人科を除いては総合病院的な陣容で地域住民の方々の診療にあたっています。乳がん検診、胃や大腸の内視鏡検査などにおいても多くの住民の方々に利用していただき、地域において不可欠な病院になっているのではないかと自負しています。さらに赤磐市国保佐伯北診療所・赤磐市国保是里診療所、和気町国保塩田診療所、医師会立仁美診療所などに医師を派遣して、過疎地の高齢者医療を支えています。

今年もより一層、地域の皆様に信頼される医師会ならびに医師会病院となれますように、医師会員・病院職員一同が協力し努力して参るつもりですので、ご指導・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



赤磐医師会病院 院長 佐藤 敦彦



皆様、明けましておめでとうございます。

昨年5月に、新型コロナウイルス感染症は5類相当へ移行し、私たちはこれまでの数年間、苦しんできた多くの行動制限から解放され、多くの自由を取り戻しました。移行当初に心配された感染の急拡大も杞憂に終わり、日本丸は概ね順調にウィズコロナへ舵を切っていたのではないかと思います。

当院も、感染予防対策を継続しながらも、5月以降は段階的にコロナ診療体制の弾力化、面会制限の緩和などを行いつつ、コロナ以前の診療体制に戻つつあります。しかし、補助金が打ち切られたのにも拘わらず、相変わらず新型コロナウイルス感染症の入院患者は後を絶っておりませんので、引き続き受け入れ態勢を維持せざるを得ない状況です。

とは言え、当院にとっては新年度もコロナ以外にも解決すべき問題が山積しております。コロナ禍で事実上凍結していた地域医療構想の再開によって、急性期病床の削減（回復期病床への転換）要求や、新年度から始まる医師の働き方改革の厳正化によって、外勤医師による当直医の確保問題、更には施設の老朽化に対する取り組み等、待ったなしの対応を余儀なくされております。

これらの諸問題に対する答えは、当院が果たすべき役割に立ち返り、地域における救急医療の受け入れを維持しつつも、急性期病床が回復期病床のいずれに入院して頂くべきかを病状に応じて適切に判断し、場合によっては岡山市内の高次医療機関との連携を一層強化するなどの対応によって、自ずと結論が見えてくるかもしれません。また、病院の増改築に関する検討は既に開始しておりますが、これらをより具体化していく年となることでしょう。

この様に、当院は地域医療の“核”としての役割を今後も担っていく所存ですので、引き続き皆様方のご支援・ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



永年勤続者表彰

第34回赤磐医師会永年勤続者表彰式

令和5年11月11日(土)

赤磐医師会管内の各医療機関から受賞者が出席され、各医療機関の院長や、医師会病院職員の参列のもと、病院会議室において赤磐医師会永年勤続者表彰式がとりおこなわれました。

勤続20年以上の部が18名、10年以上の部が12名表彰され、赤磐医師会副会長3名により、祝辞及び表彰状と記念品が授与されました。

また、受賞者代表として、医療法人幸義会岡山東部脳神経外科 原田茂樹氏、医療法人吉井外科内科クリニック 二宮由香利氏から謝辞が述べられ、勤続に際して、先生や先輩、同僚、家族などから多くの励ましや指導をいただいた事への感謝の念や、今後も医療・介護・福祉などの業務により一層励みたいなど豊富が述べられました。



当院でも表彰されました





みなさんよろしくお願ひします。

★新人紹介★

新しく仲間になった皆さんに
質問してみました。

大饗 友香
(おおあえ ゆか)

- ① 医事課 病棟クラーク
- ② いい匂いの物を集めること(ポテイクリーム、柔軟剤など)
- ③ ハンバーグ

伊東 陽子
(いとう ようこ)

- ① 管理栄養士
- ② 小魚ナッツ、旅行
- ③ 旅行、猫、犬、甘いもの、ドライブ

沼本 紘輝
(ぬもと ひろき)

- ① 内科医師(消化器内科)
- ② おいしいご飯を食べる
- ③ 車、ドライブ、音楽

窪津 康祐
(くぼつ こうすけ)

- ① 内科医師(糖尿病内科)
- ② ドクターランナー
- ③ 写真、マラソン、旅行

高橋 北斗
(たかはし ぼくと)

- ① 内科医師(糖尿病内科)
- ② 映画
- ③ 犬

井原 亜衣奈
(いはら あいな)

- ① 看護師
- ② 子どもと遊ぶ
- ③ 温泉

岡本 美幸
(おかもと みゆき)

- ① 看護補助者
- ② Netflix
- ③ 晩酌

「紹介受診重点医療機関」の指定を受けて

赤磐医師会病院は令和5年8月1日に、岡山県により「紹介受診重点医療機関」としての指定を受けました。患者の流れの円滑化を図るために、入院前後の外来、高額医療機器や設備を必要とする外来、特定の領域に特化した外来等の、医療資源を重点的に活用する外来を担う医療機関としてその機能を明確化されました。そのことにより、外来待ち時間の短縮や勤務医の外来負担の軽減に寄与することになります。原則救急を除き、初診時には「紹介状」が必要になりますが、当院設立時からの医師会病院としての患者の受け入れ態勢を医療法上においても認定されたことになりました。

さて、当院は昭和57年3月1日に赤磐郡医師会立の開放型病院として設立されました。設立趣旨の一つとして、地域医療体制の確立をはかることが決意されましたが、具体的施策の中で、オープンシステムが採用されました。主治医である開業医が、患者を入院させ、そのまま自分が治療を続け、又は病院の専任の医師と相談しながら治療し、入院の必要がなければ主治医のもとで加療を続けるという、外来、入院を通して一貫した治療方針のもとに治療できる病院(開放型病院)を目指すものであります。そのために外来機能を制限し、原則紹介制で、紹介状持参が条件でした。当初は国民皆保険制度の下、個人の医療費用負担額は少額で、フリーアクセスが当たり前であった時代に、住民の方々にはなかなか受け入れてもらえず、受付で長時間説明したにも関わらず、不信感を持って帰られる方も多かったように思います。また、ある患者さんは紹介状さえ手に入れば診察してくれるとのことで、開業医には受診も希望せず、ただ紹介状のみの交付を要求するとの事件も発生し、事務職員はどのように説明したらよいのか頭を抱えたこともありました。

時代はまさに隔世の感、地域医療連携はあたりまえのことであり、地域包括ケアシステムでは介護福祉との連携も当然のように要求されています。時代を先取りした先駆者であると胡坐をかいていると、いつしか取り残された敗残者にもなりかねません。

国は各医療機関の医療機能情報を報告させ、医療資源の効率的な運用を図ってきました。平成26年度からは「病床機能報告制度」、令和4年度からは「外来機能報告制度」、そして令和6年度からは「かかりつけ医機能報告制度」が稼働します。

その中で各医療機関の役割はさらに明確化され、互いに連携なしでは医療を提供することができなくなります。病院は社会的共通資本ではありますが、医師会病院の実践する医療は地場産業でより地域性を重視した分散化されるべき医療であるということを肝に銘じて、「紹介受診重点医療機関」としての指定を受けたらばこそ、医師会員や登録医の先生方と絶えず連携を強化し、患者サービスに励んでいくことが要求されるのではないかと考えます。(事務部長:西中 淳)



赤磐医師会病院、摂食嚥下PEG委員会とあかいわ胃ろうと
栄養の研究会の合同研修会を開催しました

ソクガイホウ
「完全側臥位法
—異次元の効果の理由—」

2023年10月28日(土) 午後2時より
会場 | 赤磐医師会病院 4階 会議室
講師 | 社会医療法人健和会 健和会病院
福村 直毅先生 福村 弘子先生



夏から流行のインフルエンザが、寒くなってもずっと続いています。
コロナウイルス感染症もまだ収まりきってはいませんが、感染症分類上5類相当となり、私達の
日々の生活も変化をとげました。

学会や研究会も以前の形にもどってきています。

昨年は研修会もwebと併用のハイブリッドで行いましたが、今年は以前のような形式にもどしての
開催をいたしました。久しぶりの研修会でしたが、予想を上回る80数名の参加がありました。

今回は嚥下障害のある方に嚥下訓練、食事介助する際に、側臥位で食事をする方法「完全側臥位法」
のお話です。座位でのポジショニングの勉強は過去にしましたが、この新しい嚥下リハともいわれる
「完全側臥位法」は、「寝たまま食べる?!」 目から鱗がおちるような逆転の発想。高齢者の重度嚥下
障害にも非常に有用との報告も近年多数なされておりますので、この方法を開発された福村先生ご夫
妻に直接お話をうかがいたくお願いしてみましたところ、快諾をいただき遠く長野県からわざわざお
越しいただきました。

10月28日、秋晴れのさわやかな日に長野県から車を運転して医師会病院まできてくださいまし
た。地元で往診もされるそうで、車には嚥下内視鏡用の内視鏡から、講演の時に使用する喉の模型ま
で色々な道具をたくさん積みこんでの来院です。

長野県飯田市にある健和会病院、この病院のリハビリテーション科長の福村先生は工学部を卒業し
てから医学部にいかれたという先生で、嚥下障害に関する発想も工学的な視点もとりにわかれた非常に
ユニークな視点で、寝たまま誤嚥をせずに上手に食べてもらう方法を、理論から詳しくわかりやすく
お話してくださいました。

こんな風に全国で講演されているそうで、一年の三分の一は講演会などでお出かけなのだそうです。

同じ病院に摂食嚥下障害認定看護師として勤務されている奥様が実際の方法を実演してくださり、
大変わかりやすかったと参加の皆さんからも好評でした。



赤磐医師会病院 外来診療・検査担当表


令和6年1月4日現在

		月	火	水	木	金	土
外来診療・健康診断	内科一診	柚木 直子	平井 通雄	柚木 直子	平井 通雄	窪津 康祐	
	内科二診	山下 真弘	沼本 紘輝	吉井 将哲	瀧川 雄貴	担当医	
	内科三診	高橋 北斗	佐藤 敦彦				
	内科四診						
	内科午前 (予約外来)	灘 隆宏 (予約制)		友田 純 (予約制)			
	内科午後 (予約外来)	佐藤 敦彦 (予約制)					
	外科	荒木 宏之	宮木 功次	仁熊 健文	荒木 宏之	宮木 功次 蓮岡 英明(第3)	
	整形外科	片山 信昭	*1 金光 俊	片山 信昭		片山 信昭 金光 俊	
	リウマチ外来 (予約・紹介制)		*2 片山 信昭				休 診
	上肢・手の外科 (予約制)				*3 今谷 潤也		
	泌尿器科			*4 渡部 智文		渡邊 豊彦	
	呼吸器内科 (予約・紹介制)		工藤健一郎	藤原 慶一	松尾 潔		
	呼吸器外科 (予約・紹介制)					片岡 正文 (第1・2・4・5)	
	糖尿病内科 (予約・紹介制)	*5 大宮 照明	*5 岡崎 悟	*5 前田 英紀		前田 英紀	
	循環器内科 (予約・紹介制)	兼澤 弥咲	*6 浅田早央莉 赤木 達		*7 赤木 達		
	腎臓内科 (予約・紹介制)		大宮 照明				
膠原病内科 (予約・紹介制)		*8 勝山 恵理					
脳神経内科 (予約制)				松岡 千加			
健康診断	平井 通雄	草地 省蔵	草地 省蔵	大澤 恵一	友田 純	(第1) 草地 省蔵 (第3) 担当医	

診療受付時間：午前8時30分～午前11時


整形外科	*1 火曜日	午後1時～午後3時
リウマチ外来	*2 火曜日	午後1時～午後3時
上肢・手の外科	*3 木曜日	午前9時30分～午前11時
泌尿器科	*4 水曜日	午前8時30分～午前12時
糖尿病内科	*5 月・火・水曜日	午後2時～午後4時
循環器内科	*6 火曜日	午前8時30分～午前11時 午後2時～午後4時
	*7 木曜日	午前8時30分～午前11時 午後1時30分～午後4時
膠原病内科	*8 火曜日	午後2時～午後4時

※都合により休診になることがあります。



- ☎ ミュニケーション(対話)
- ✉ メール(笑顔)
- 🚗 ビリティ(機敏性)
- 🔧 キル(技術)

新年明けましておめでとうございます。
いつもの日常を少しずつ取り戻しています。
当たり前の生活が幸せだと感じております。
穏やかな良き一年を過ごせますよう。
皆様のご多幸をお祈りします。(塩見)



地域医療支援病院 赤磐医師会病院

〒709-0816 岡山県赤磐市下市187-1
TEL 086-955-6688 (代) FAX 086-955-4946
HP <https://www.akaiwa-mah.jp/>
発行日 令和6年1月15日

